

なんこく 市議会だより

No. 88

平成31年(2019年)2月号

主 な 内 容

《12月定例会市議会(第405回)》… P2

「農地整備課」新設
一般会計補正予算
6億7,386万円の増額計上

《12月議会一般質問》…… P4～12

《各委員会委員の決定》…… P13
常任委員会・議会運営委員会

《視察レポート》…… P14

《議決一覧》…… P15

《なんこく歳時季 巻5》…… P16
・南国オフィスパーク
センター別棟

◆ 表紙写真 ◆

1月6日、比江スポーツグラウンドで消防出初め式が開かれました。消防団員ら約450名が参加し、放水訓練や模範操法の実演、消防団車両のお披露目、もち投げなどが行われました。



発行／南国市議会
E-mail:n-gikai@city.nankoku.lg.jp

編集／市議会だより編集委員会
南国市大堀甲2301 TEL 088-880-6570 FAX 088-864-3281



第405回
12月定例会

平成31年4月「農地整備課」を設置 係の体制を強化。ほ場整備推進へ 一般会計補正予算は6億7,386万円の増額計上

第405回定例市議会は、12月7日から20日までの14日間の会期で開かれました。
市長提案の議案27件、議員発議の意見書4件の審議が行われ、全議案を可決・同意し、意見書3件を可決しました。

12月定例議会初日、継続審査となっていた平成29年度の決算等の議案11件について、所管の常任委員会において、いずれの議案も認定・可決とする委員長報告があり、その後の採決で全会一致で認定・可決となりました。また同日には、各常任委員及び議会運営委員の任期満了に伴い、新たな委員の選任が行われました。(13ページ参照)

続いて市長より、市政状況及び主要な政策が報告された後、今議会へ提出された議案の提案理由が説明されました。



11日から14日までの4日間は16名の議員から、市長の政治姿勢、農業、防災、観光、福祉、教育行政などについて一般質問が行われました。

17日には提出された議案に対する質疑と人事案件3件の採決が行われました。人事案件についてはいずれも同意となり、残余議案は所管の常任委員会に付託されました。

18日には各常任委員会で付託議案を審査し、20日の最終日には各常任委員長が報告、採決が行われ、全議案が原案のとおり可決・同意となりました。

また、議員から4件の意見書が提出され、「待機児童解消、保育士の処遇改善、保育の無償化のための必要な措置を求める意見書」「認知症施策の推進を求める意見書」の2件を全会一致で、「Society 5.0時代に向けた学校教育環境の整備を求める意見書」を賛成多数で可決し、「日欧EPAや日欧SPAからの勇敢なる撤退を求める意見書」を賛成少数で否決し、閉会しました。(15ページ参照)

◆ 市政報告 ◆

10月27日に天皇、皇后両陛下が「明治150年記念 第38回全国豊かな海づくり大会」高知家大会」に伴い16年ぶりに来高されました。海づくり大会の式典や放流行事に臨まれたほか、県内各地を視察されました。29日には、高知大学海洋コア総合研究センターを訪問され、海底の堆積物を円筒状に抜き出した「コア」に関する研究を視察されました。来年4月に退位される両陛下にとりましては、在位中最後の「三大行幸啓」となりました。本年4月から、高知県下全域を圏域とする、れんけいこうち広域都市圏での取り組みが開始し、高知市と県内各市町村が1対1の連携協約を締結し、20の連携事業に取り組んでいます。11月1日には、

◆ 主な可決議案 ◆

(議決結果は15ページ)

議案第1号

一般会計補正予算
補正予算規模は6億7386万6千円の増額計上です。

主な歳出は次の通り。
▽人件費関係：退職手当

▽民生費関係：障害者自立支援給付事業費

▽土木費関係：土地区画整理事業費

▽消防費関係：防災対策加速化基金積立金

▽教育費関係：特別教室等への空調設置費
業用施設災害復旧事業費

議案第12号

地域ケア推進会議設置条例

医療、介護、介護予防、その他の生活支援サービス、地域における支援体制を総合的に調整、推進することを

目的とした市長の附属機関として、南国市地域ケア推進会議を設置するため、条例を制定するものです。

議案第14号

ふるさと寄附条例の一部を改正する条例

寄附金を財源として行う事業をこれまでの寄附の傾向等から見直すとともに、寄附金を南国市ふるさと応援基金に積み立てることなく、直接事業の財源に充てることができるよう条例の一部を改正するものです。

議案第15号

課の設置に関する条例の一部を改正する条例

国営ほ場整備事業について、今後、事業計画案の策定及び土地改良区の設立準備の円滑な推進並びに事業の着実な実施を図る必要があることから、現在の

係の体制から新たに「農地整備課」を設置し体制を強化するため、条例の一部を改正するものです。

議案第17号

一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例

国家公務員の給与改定に準じて、一般職員の勤勉手当の年間上限額を0.05月分引き上げることと給料表を改定するため、条例の一部を改正するものです。

議案第18号

市議会議員の議員報酬等に関する条例の一部を改正する条例

市長等に対する給与並びに旅費に関する条例及び教育委員会教育長の給与、勤務時間その他の勤務条件に関する条例の一部を改正する

る 条 例

国家公務員の給与改定に準じて、一般職員の勤勉手当の年間上限額を引き上げることに伴い、市議会議員、市長、副市長、教育長の期末手当の額を0.05月分引き上げるため、条例の一部を改正するものです。

議案第24号

教育委員会教育長の任命の同意について

平成31年1月15日で任期満了となる大野吉彦氏の後任として、竹内信人氏を任命するため、議会の同意を求めるものです。

常任委員会の審査では、小学校校長として3月末まで在職したものの就任が良いのではという意見や、反対の意見が出されましたが、賛成多数で可決となりました。

執行部に問う

一般質問

12月議会では、防災・福祉・産業・教育など市政全般について4日間にわたる一般質問が行われました。それぞれの質問内容の一部を要約してご紹介します。

◇12月議会で行われた主な質問項目◇ (質問順)

氏名緑色 (一問一答方式)、青色 (総括方式)

1 高木正平 ①津波対策 (森の防潮堤について・災害協定の締結について) ②福島県浪江町での視察をとおして ③不納欠損について

2 土居篤男 ①小中学校でのいじめ対応を抜かりなく行え ②南海トラフ地震等災害対応の具体策を求める ③十市は場整備後の修復工事施工を求める ④高齢時代に安全の備えを求める ⑤少子化対策・保育料無償に

3 小笠原治幸 ①元気な高齢者が地域を創る ②高知県産業振興計画 ③株式会社南国市産業振興機構

4 今西忠良 ①市政運営とアウトソーシング ②水道事業の公設民営化・水道法改正案 ③自治体の職場づくりとコンプライアンス・職員研修 ④駐輪場の管理 (放置自転車対策・JRごめん駅駐輪場への屋根設置)

5 西川潔 ①南国市都市計画マスタープラン (ワークショップ (市民の希望と夢) の提案をどう実現する) ②森林経営管理制度 (森林経営管理法・市の取り組みと課題)

6 中山研心 ①緑ヶ丘住民説明会の開催 ②監査請求却下の適法性

7 野村新作 ①防災行政 (防災・災害用井戸の設置、井戸設置費用の一部助成) ②文化行政 (オナガドリ保護増殖センター、オナガドリ鳥インフルエンザ対策)

8 山中良成 ①観光産業行政 (自然体験型観光・農泊提案、観光診断、観光開発審議会) ②西島園芸団地と南国市産業振興機構 (経営状態・貸付について、投資か撤退かアンケートを、いつまで支援、経営は適切か、出向契約) ③明見保育所に駐車場を (現在の危険性、交通量調査結果)

9 土居恒夫 ①民生委員負担軽減について ②ワンストップ窓口サービス ③十市学童保育の建築は ④文化ホールについて ⑤交流力 (小牧市)、沿道力 (龍馬マラソンにステイックバルーン)、発信力 (市制60周年)

10 有沢芳郎 ①都市計画法と土地改良法の関係について ②市街化調整区域内に会社設立する場合の建築許可について ③西島園芸団地の経営と南国市産業振興機構の関係について

11 西岡照夫 ①イオンの南国市への出店 (これまでの経過、今後の見通し) ②南国市中央地域交流センター (仮称) の内容等 ③ (仮称) 南国日章工業団地の経過、概要、各種優遇制度等、工業用水の対応

12 浜田和子 ①学習環境と省エネルギー推進 (置き勉・エアコン・太陽光発電システム・CO2削減) ②手話言語条例 ③子育て包括支援 (産前産後サポート、赤ちゃん防災講座) ④ゴミ袋について

13 前田学浩 ①やなせたかし氏生誕100年の記念事業の実施 ②南国市の情報化 (広報 (SNS活用、防災・減災、教育、農業、福祉・マイナンバーカード)

14 神崎隆代 ①住宅行政 (コンクリートブロック塀等の安全対策について・市営住宅にエレベーターを) ②保健行政 (風疹対策について・小児がんの早期発見について・乳がん検診について)

15 福田佐和子 ①市長の政治姿勢 (安心安全のまちづくり、国保税の引き下げ) ②教育行政について (重大事態への市の対応は万全だったか・情報公開と審査請求)

16 浜田勉 ①高新出放題の11月、月間賞の文意は ②クラブ活動と生徒への成長は ③懲戒処分と地教委の存在性 ④教諭の長期同一校在任と校長の再任用での居座りは、腐敗要因 ⑤小田々さんの米食味、金賞は

高木正平 議員



津波対策

問 津波被害の軽減を図る2年前の「いのちを守る植樹祭」事業は、どう継続していくのか。

答 他の浸水想定区域にも植樹を広げ、津波避難タワーの防災広場など、植樹が可能で効果の見込める場所を検討していく。また、植樹祭の思いをつないでいける防災学習なども実施したい。

問 「災害協定」による支援、援助の内容や協定数などを問う。

答 物資供給に関する協定が19、搬送に関する協定が11、応急・復旧に関する協定が38、避難に関する協定が47、その他の協定が19となっている。

問 協定後の定期的な確認や連携を問う。

答 毎年、各協定の連絡責任者の確認を行っている。協定締結後に同様な協定が他市町村と締結されると、配備や配置数が変わってくるので、今後確認したい。

問 物資供給や輸送など、協定内容を周知できないか。

答 各地域で開催する防災学習や市広報などで周知しているが、その後の情報提供ができていない。ホームペーじや定期的に広報などに掲載するなど、周知に努めたい。

不納欠損について

問 時効等による国保税の欠損処分状況、実状を問う。

答 不納欠損は、差し押さえ可能な財産がない生活困窮の世帯が主で、ほかに行方不明や死亡など、世帯数で1

09世帯である。

問 介護保険料の徴収方法と滞納となるケースなどを問う。

答 65歳以上の方の介護保険料は市町村が徴収し、年金が年額18万円以上の場合には年金から天引き、65歳到達の初年度や市外から転入した年度などの保険料は納付書で納付していただく。年金天引きに比べ未納となるケースがあることから、納入通知書に同封する文書での口座振替の推進や、窓口で説明し、収納していただくように努めている。

問 後期高齢者医療制度への移行と保険料徴収のお知らせは、高齢者にも分かりやすいチラシなどの工夫を。

答 高齢者がわかりやすい文書で周知し、後期高齢者へのスムーズなステップアップにつながると思うている。

土居篤男 議員



小中学校のいじめ対応

問 いじめや教師の指導不適による自死、不登校が頻繁に報道される。校長のリーダーシップによって、各校での確な把握と適正な指導体制はできているか。

答 南国市いじめ防止基本方針の中で、学校はいじめ対策組織を中核として、一致協力体制を確立し、教育委員会とも適切に連携しながら対策を推進することと明記しており、学校はこれを受けて、校長がリーダーシップを発揮し、全教職員が一丸となって取り組んでいる。

いじめの把握について

ては、重大事態の疑いがある事案は、迅速に教育委員会に報告することとしている。また、毎学期ごとにいじめの件数や対応状況について報告書の提出を求め、教育委員会が把握、確認する中で、重大事態とならないように指導、助言を行っている。

学校での組織的な取り組みはもちろん、教育委員会としても、複数の指導主事等によるチェック体制を重視し、学校と教育委員会とが機能的に役割を果たせるように取り組んでいる。

変形ほ場の修復を求める

問 十市地区東沢地域の県営ほ場整備事業後、不等沈下で耕作不能となった土地がある。換地で悪い土地が割り当てられたという意識があり、地権者には工事を求めにくく、土地所有者と耕作者が異なるために補修工事をする者が決まりにくい。改善工事を求める。

答 修繕費用の負担は普通は所有者が負担するべきものではないかと思うが、事業として施工した農地で不具合が生じているので、土地改良区内の組織として全体の対応が大事ではないかと思う。

市ができることとして、他の事業で残土が生じた場合、仮置き場までの搬入をその事業者に依頼し、もし残土処理の費用がない場合に土地改良区には運搬をお願いしたいと申し上げてきた。個人の土地に市費を投じてというのは問題があるかと思うので、土地改良区としての事業を国費なり県費なり使ってやる場合には、市としても対応していきたいと思う。

小笠原治幸 議員



高知県産業振興計画

問 産業振興計画も10年が経過。各分野で成果が出て、さらなる地産外消費強化で成長を目指している。南国市でのアクションプランの効果と空の駅が取り組んだアンテナショップの役割、地域特産品開発、販路拡大、農産物加工の方向性を問う。

答 アンテナショップは、地元農産品を活用した商品開発を行い、外商に結びつけた経過はある。新たな組織は検討できていないが、これからの商品開発及び外商の推進について、官民が協力してできる方策について改めて検討していきたい。

本市のアクションプ

ランは県の支援をいただき、直販所の整備や

直販所から学校給食への地元農産物の配送など、地産地消の取り組みも大きく前進した。

また、商品開発においては、ごめんけんかシヤモの商品化・販路拡大、ヤギミルクの生産体制も整ったところだ。しかし、どの事業もそれぞれ課題を有しており、課題克服に向けて、事業主体及び関係機関と情報共有を図りながら、丁寧なフォローアップを続け、目標の達成に向けて取り組んでいきたい。

産業振興機構の方向性

問 南国市産業振興機構は、市の観光産業と雇用の維持、西島園芸団地再建のために設立された。資金の貸し付け、社員の派遣、補助金大量投入は市民目線では問題があり、経営指導が十分行われず再

建が困難と思うが、今後の方向性を問う。

答 産業振興機構は、市と民間が出資する第三セクターの会社であり、法的な問題はないと考えている。行政が西島園芸団地に対し支援することについてはさまざまな意見があるかと思うが、西島園芸団地が市の観光に果たす役割、なくなった場合の影響を考えた上で、設立し、支援を開始したものであり、理解いただきたい。

これからは市に頼らない経営を目指さないといいけないところで、市としても方向性を見定め、どのように株式を取り扱っていくか今後考えなければならぬ。一定、めどの年数に過ぎたので、自立に向けて独自の経営でやっていけるような形を模索しないといけない。

今西忠良 議員



自治体の職場づくりと職員研修

問 研修は自ら学び、気付き行動を展開すること。研修の目的と意義は。

答 法令遵守を目指すためにコンプライアンス研修を行った。発端は前副市長の件だが、日頃から必要であった。

問 不祥事の事例の対応と今後の課題、危機管理意識向上策を問う。

答 不祥事の背景には、自分への甘さや業務のチェック不足、危機意識の弱さ、住民の目の軽視など、さまざまな問題がある。いま一度今回研修で学んだことを検証しながら、法令遵守に努めていく必要がある。

問 職員は常に公務のあり方が問われる。職務の基本と公務員の心構えを問う。

答 市を良くしよう、市民のためにという基本を忘れずに、日々の業務に当たることを全職員に徹底していかねければならない。

職員の意識向上が不可欠で、そのためには研修を繰り返すとともに、職場全体の風土づくりを行っていかねければならない。そういったことで、公務員の心構えにつなげていくことが重要だと思う。

水道事業の公設民営化

問 水は生命の源であり、人の生活に潤いを与え、産業や文化の発展に重要な役割を果たしてきた。今回の法改正で民営化への道が開かれたが、生命の水は、市民共有の財産、公営で守るという原則に立つべき。見解を聞く。

答 民営化によって市民に不安を与えないようにしていかなければならない。民営化できるようになったからといって、即座に検討することは今の段階ではあり得ないと考えている。

安心・安全な水を守っていくという視点で、民営化をこれからどうするかということ、状況を見定めながら検討することも必要になるかもしれないが、今の段階では全く考えていない。



西川 潔 議員



森林経営管理法
施行近づく

問 4月から始まる森林経営管理制度。具体的な手順や内容、所有者不明、境界確定、事業の受け手などの課題は。住民からの目的税の性格上、どのような公益的視点で事業を実施するのか問う。

答 森林経営管理制度とあわせて、各市町村に配分される森林環境譲与税の活用によって、放棄されてきた森林整備が進められ、適切な森林管理を通して森林の公益的機能が持続的に発揮され、豊かな森林資源を健全な形で未来に引き継ぐための重要な役割を担うものがあると考えている。

本市においては、間伐等の施業の履歴がないなど経営管理が行われてないおそれがある森林について、経営管理の意向に関する調査を順次行いたいと考えている。その結果から、市が経営管理の委託を受けて森林を整備する予定である。また、森林を整備するために必要な森林境界の明確化も実施していきたい。

ワークショップでの
提案実現

問 都市計画マスタープランは、市が創意工夫のもとに住民の意見を反映させて具体性のある将来ビジョンを確立し、地域別のあるべき姿を総合的に定めることが役割。市内各所で開催されたワークショップでの提案をどう実現するのかを問う。

答 市内の4会場でワークショップを開催し、主な意見として、既存

集落の活性化、優良農地の保全、産業振興、市街化・中心市街地の活性化、津波災害対策などが出されたが、提案された意見にはいろいろな課題がある。例えば、市街化調整区域の土地利用については、全般的に都市計画法、農地法などの社会的な制約のほか、津波浸水想定区域、土砂災害警戒区域など、自然災害の危険性も考慮しなければならぬ。また、地区計画、住宅の建築については、一定以上の幅員の道が必要という接道の問題などがある。提案をどう実現していくかは、法的な規制によるものなら規制緩和で実現が可能となるものもあると思うが、それ以外は、一つ一つ課題を克服していくしかないと考えている。

中山研心 議員



住民説明会

問 緑ヶ丘訴訟判決確定を受けて、改めて住民説明会を開催し、丁寧な説明をすべきではないか。

答 緑ヶ丘の住民代表の方から判決後に質問状をいただき、7月に回答文書を送らせていただいた。質問の中には、2、3回の説明会を開催することもあったので、説明会を開催する旨の回答をさせていただいている。

日程については、住民の都合にあわせるようにしていたが、先方より10月以降で決まり次第連絡をいただけるということ、これまでお待ちしていたところだ。

今月6日に、代表の方に連絡をさせていたが、まだ決まっていないということ、連絡をいただいたら説明会を開催したいと考えている。

監査請求却下

問 判決文で「適法な監査請求を却下」と指摘されてなお、代表監査は誤りを認めていない。意見陳述の機会を奪い、無駄な裁判費用を使わせたことに対する反省の弁はないか。

答 裁判の判決は、本件土地の原状回復請求権、本件工事契約の債務不履行に基づく損害賠償請求権を行使しないことが怠る事実である旨、主張されているものと解されるところ、これらはいずれも特定の財務会計上の行為が違法、無効であることを前提とするものではないから、いわゆる真

正怠る事実にあたり、

期間制限が及ばないと言わなければならない判決であるから、期間制限があると判断した監査委員の判断は誤りだったことになる。

適法な監査請求を不適法として却下した、そういった監査委員の誤った判断によって、裁判を起こさざるを得なくなったことについては申しわけなく思っており、この場を借りておわび申し上げる。今後は、請求人の意見も十分に聞き、関係機関の意見も聞きながら、監査委員全員で、慎重に審査をしていきたいと思っている。

問 勝手にこの場を借りて謝罪されては困る。南国市が開催予定の住民説明会に出席して直接謝罪すべきでは。

答 監査委員はそういう立場ではないので、出席しない。

野村新作 議員



オナガドリ保護増殖センター

問 オナガドリ保護増殖センターは、原産地である篠原地区に設置すべきだ。他の地区に設置してもなんの意味もない。また、血統的に弱いとされる鳥インフルエンザ対策について、保存会員に対してどのような指導・対策を講じているか。

答 篠原地区はオナガドリ発祥の地であり、周辺住民の理解も得られやすいと推察される。また、市の中心部であり、観覧者が訪れやすい地域でもある。市街化調整区域は候補地とならないということはないが、各種の法規制はクリアしなくてはな

らない。クリアできる適地があれば当然検討すべきと考える。

鳥インフルエンザ対策 については、必ずしも万全の対策を施した環境とはいいがたい状況である。個別の飼育者の環境改善については、止め箱やふ卵器といった備品の貸し出しを行っている費用の一部を振り替えて、できるのではないかと考えている。

防災・災害用井戸設置と一部助成

問 市には避難所となる施設が54カ所あるが、井戸が設置されている避難所は7カ所である。他の避難所に井戸設置の計画はあるか。防災災害時の水の確保ができる井戸の設置を市として促進し、設置費用の一部を助成してはどうか。

答 本市の災害井戸の設置については、平成

26年度に整備予定地の水脈が深く、手押しポンプでは水が上がらないことが判明し、井戸の整備を取り止めた経緯がある。地震発生後の濁りや水質の変化、水量の問題、また水脈が途切れる恐れもあるため、防災井戸の設置よりも浄水器の購入を考えている。これまで浄水器は機材も大きく高額であったため整備も進んでなかったが、簡易で安価な製品も提供されるようになってきたので、計画的に購入を進めていく。

また、設置費用の一部助成についても、災害時の水の確保は飲料水用ペットボトルの備蓄や耐震性貯水槽、配水池の緊急遮断弁の設置などの対策を進めているので、現在のところ助成は考えていない。

山中良成 議員



西島園芸団地への貸付

問 事業再建から6年が経過。今回資金不足により1900万円を貸し付けたが、議員への説明は資金ショートの前日で横暴だ。今後投資するか、撤退するか市民アンケートをとるべきではないか。

答 資金ショートが起ることを回避するために支援が必要な状況であるので、アンケートを実施するという思いは今はない。

問 いつまで支援していくのか。

答 いつまで支援を行うかについては、今後の西島園芸団地の体制をどのような形にしていくのか、また金融機関との調整もあって、

現在のところ具体的な方法というのは見つからない状況である。

いつまでも市が支援を行うのは本来の再建にはつながらないのではないかと考えており、今後再建に向けたいろいろな方法を検討していく必要があると考えている。

保育所に駐車場を

問 駐車場がない保育所等の件数と、そのうち道路を横断して出入りするのは何件あるか。

答 保育施設敷地内及び保育施設に隣接した保護者駐車場がない施設は明見保育所の1カ所である。

問 総合計画に「今後は子どもの視点が大切にされ、子どもの利益が最大限に尊重される」とあるが、どんな改善がされるのか。

答 安全・安心に通園ができるよう車両への注意喚起や施設に隣接

した駐車場について再度適地確保に取り組んでいきたい。

問 市長の見解は。

答 明見保育所においては、駐車場の確保だけでなく、施設の拡充も検討が必要な状況だと考えている。他の保育施設の課題解決とあわせて検討が必要なため、すぐに対応は約束できないが、市内保育施設の課題の一つとして今後も検討していきたい。

現在、保護者駐車場として厚意で借りしている場所については、経営者の考えもあると思われるので、駐車場確保について早急な対応が必要と改めて思っている。再度担当課より地権者に相談したい。

土居恒夫 議員



中央地域交流センター

問 (仮称) 南国市中央地域交流センター(文化ホール)の業者応募状況と選定方法は、

答 参加申し込み表明期限までに書類の提出

があったのは3社で、設計共同企業体がそのうちの2社である。

問 審査委員に専門委員を加えたり、公開ヒアリングを実施したりしないのか。

答 ヒアリングの際には、専門的見地を有する識者の同席も考えている。

問 建築費10億円とあるが、これで市民待望の文化施設が完成できるのか。

答 建設資材や建設労務単価のように変動する要因もある。南国市にこれまでになかった文化的行事を行える施設ということ、舞台、音響設備等については、十分な機能を備えていないといけない。上回ってくる場合も想定されるが、現時点では10億円、消費税抜き、程度にとどめている。

十市学童保育

問 十市学童保育は小学校プール東側に新築され、新年度より入所予定であったが延期となった。また、工費も倍に膨らんだがなぜか。

答 当初予算額より工事費が上回った要因は、2棟分が1棟分になったことによる予想以上の経費の差額分、整備場所が運動場と決定したことによる電気・給水の引き込みの延長、遊具の移設費、通路の電灯費用など新たな工事費等が必要となったもので、工事少し遅

くなっている。

問 入所予定は。

答 新しい整備を進めている施設への入所は6月下旬と考えている。

問 学童保育は学校生活の延長。指導員と教員の定期連絡を求める。

答 どの学校も指導員の方々と校長、教頭の管理職を中心に、日常的に子どもの対応についての相談、情報共有に努めているという確認をしたところである。今後連携については、校長会等を通じて常に周知を図っていききたい。



有沢芳郎 議員



都計法と土地改良法の関係

問 臨床検査を業務とする会社の田村地区への建築が許可されたが、地元部落でなぜ説明がないのか。ウイルスは完全に死滅するのか。

排水の許可を出すのに業種を調べたか。排水の同意書は下流の水利権を有する代表理事の同意も必要ではないのか。

答 排水の第1次放流先の土地改良区において説明会を開催したと伺っている。ウイルスについては、生活排水とは別に検査廃液用の配管の整備を行って、高圧蒸気滅菌や次亜塩素酸溶液により殺菌消毒等で滅菌し、中和処

理を行った後、専用の浄化装置を通して排出されると事業者から聞いている。排水の申請は事務所の排水及び敷地の雨水排水の申請だったので、業種は調べた。建設課としては、一時放流先の土地改良区や地元部落の意見を受けて同意書を発行している。

西島園芸団地の決算内容について

問 西島園芸団地が資金不足となり、1900万円の貸し付けを受けている。昨年は1億円以上あった現金が15カ月で不足するのはおかしい。決算書、キャッシュフロー等の資料を見せてほしい。資金繰りに対して非常に甘い経営をしているが、筆頭株主としてどう思っているか。

答 全ての書類を出せるものかは確認して、ないとわからないが、特別委員会では求められたものについては、可能な限り示して説明させていただくと西島園芸団地とも話はしている。

税理士と専務理事がどのような意思疎通をしたかまでは存じてないが、直前まで報告がなく、現実的な話としてもっと早く教えていただきたかったというのが正直な思いだ。今回の貸し付けは、一時的な資金ショートであり、7月には返していただけの見込みである。しかしながら、改善計画については暫定的な状況であり、今後しっかりと計画をつくらなければならない。職員の皆様にも改善に向けた方策を提案いただき、一致団結して再建に向けて取り組んでいただくようお願いしている。

西岡照夫 議員



(仮称) 南国日章工業団地について

問 県と共同で進める(仮称)南国日章工業団地事業について、計画した目的、経過、地元関係者との協議なども踏まえ、団地の開発面積、区画、関連施設、分譲価格、完成見通し、県との共同開発による他市の状況、工業用水の対応について聞く。

答 (仮称)南国日章工業団地は、用地買収がほぼ完了し、31年度に本体造成工事等を開始する予定で、32年度末の完成を目標としており、33年度中の分譲開始を目指している。開発面積が約16・1ヘクタール、うち分譲面積が約11・5ヘクタール

ルで、6区画となる計画だが、細分化も可能だと考えている。分譲単価は、経費等の兼ね合わせと近隣団地の単価を考慮して設定していきたい。

日章工業団地では地下水の取水を禁止していることから、工業用水を希望されても対応できないと考えている。企業に対する水の供給は上水道を計画しているが、団地全体での給水能力は日量400トンの予定で、地下水が利用できないことも考慮すると、大量に水を使用する企業の立地は難しいと考えている。

地域交流センター

問 業者選定プロポーザル実施要領が示されたが、業務の趣旨・目的、工事期間、敷地面積、工事価格、構成要素と規模、建設位置、既存施設の解体・撤去、移設を聞く。他市の類

似施設の工事価格と比較し当市のセンターの予定価格は十分か問う。

答 プロポーザルの業務の趣旨・目的は、老朽化した中央公民館、大篠地区公民館を合築し、(仮称)南国市中央地域交流センターとして新たに整備するものである。文化的行事を行うに足る舞台、音響設備を備えたホール、500席程度の観覧席を配置、可動席で収納可能なものとし、多目的施設として整備する。工事の予定期間は平成32年6月から33年7月末、既存施設解体も含む予定とし、敷地面積は約5千㎡と仕様書に表記している。予定工事価格は、現時点で10億円程度としている。大篠公民館の解体を遅くすることが可能なら、建設予定地は敷地の東南側になり、これを第一候補と考えたい。

浜田和子 議員



子育て包括

問 産前産後のサポート事業は母子保健推進員の家庭訪問による情報収集が一番の基本となるが、現在の処遇は適当と認識しているか。

答 赤ちゃんの生まれた家庭を訪問するこんにちは赤ちゃん事業は、平成27年度から助産師の訪問に移行したが、現在でも母子保健推進員の訪問同意をいただいた方に対し、担当地域での訪問活動として妊娠中1回、4カ月児健診までに1回、1回当たり500円でお願ひしている。1件当たり500円は一般的には少ないという感じはする。他市の状況も見えて見直しを図りたい。

問 乳幼児と保護者のための「赤ちゃん防災講座」を実施し、心肺蘇生法やAEDなど乳幼児の救急救命法の普及促進を求める。

答 市の消防本部で行っている普通救命講習では、家族に乳幼児がいる場合には幼児の人形を用いて救命講習を行っているが、乳幼児に特化した救命講習は現在行われていない。市民から要望があれば、関係課と開催に向けて協議したい。

ゴミ袋について

問 平成17年度からの財政赤字を防ぐため、ゴミ袋の値上げも実施された。17年から現在までに市債も98億円以上減らし、基金は2億9千万円できるようになった今、値下げする考えはないか。

答 香南清掃組合が新しい建物になり、これから償還額が大きくな

ることが見込まれている。その部分については負担金で出すことも見込まれ、今後、公債費の負担の増に香南清掃組合の基金をどの程度充当するか、まだはつきり決まっていないところだ。そういった状況も見ながら、負担の軽減について考えていかねばならないと思っている。

問 3市広域での焼却炉の手数料が市によって異なることへの所見を問う。

答 確かに香南、香美、南国の構成3市の中で、それぞれ料金が違うことは違和感もあることかと思う。改善すべきという考えはわかるので、今後は3市において検討していくべきことではないかと思う。

前田学浩 議員



やなせたかし氏
生誕100年事業

問 2019年は、南国市の名誉市民であるやなせたかし氏の生誕100年である。ちょうど市制60周年の年だが、計画していることはあるか。「ごめん」なはり線」の活用・普及を兼ねて、関係市町村とイベントを計画しているかどうか。

答 やなせ公園での式典や軽トラ市、ハガキでごめんなさい表彰式との連携など、発案をいただいた地域や、商工会、観光協会、市の地域おこし協力隊、海洋堂などの有志によって内容を検討している。ありがたい駅は、後免駅と合わせた活用を

考えていく必要がある、さらにアンパンマン

キャラクターの石像が設置されたやなせたかしロード、やなせ氏の母校である後免野田小学校、やなせたかし・ごめん駅前公園など、市内にあるゆかりの場所を含めた、本市全体のやなせブランドを生かしていきたい。また、名誉市民であるやなせ氏の功績等も紹介して、やなせ氏ゆかりの地、南国市を情報発信していければと考えている。

農業のICT・AI化

問 近年、農業のICT・AI化が急速に進んでいる。石川県の大手建設機械メーカーによると、ICTブルドーザーとV溝直播機で、生産コスト4割減、作業時間3割減になるとBSフジで発言があった。ほ場整備に合わせ、市の企業と関係のあるメーカーとのICT

の活用を積極的に進めたい。石川県の事例のように、地元企業とどのような形で取り組めるのかはまだわからないが、ヤンマーについても、自動運転農業機械は既に各種開発され、販売もされているので、ほ場整備を契機とした何らかの連携の可能性も期待していきたい。

T・AI化に取り組むべきでは。

答 基盤整備をされた広大なほ場における土地利活用型の農業であれば、耕起、播種、薬剤散布、収穫などの自動運転システムを有効活用していくことで、さらに農地を集積していくことも可能となる。まだ検討段階であるが、担い手となる方にはぜひ取り組んでいただきたいと考えている。

市営住宅について



神崎隆代 議員

市営住宅について

問 入居者の高齢化が進んでいる。3、4階建ての住宅へのエレベーター設置で負担の軽減と安心して住み続けられる対策を。

答 本市の集合住宅は構造上、エレベーターを設置しにくい構造となっており、仮にエレベーターを設置するとすると、相当広いスペースの確保と多額の予算がいることが予想される。大規模改修で対応する場合には、大変ハードルは高いのではないかと考えている。

問 大規模修繕の内容は。 **答** まだ具体的な修繕計画がないが、築造30年以上となる3、4階

建て市営住宅の給排水設備の更新を考えている。平成31年度に公営住宅の長寿命化計画を策定する予定で、その計画策定作業において、大規模修繕の優先順位や修繕内容等について検討していきたい。

問 今後のバリアフリー対策は。 **答** 高齢者や障害者に配慮した市営住宅の修繕・改築として、段差のない床、手すりの設置、三点給湯設備の設置、幅広い通路、出入り口の確保等を考えている。

乳がん検診について

乳がん検診について

問 本市の乳がん検診の受診率は。受診率アップのための施策は。 **答** 乳がん検診の受診率は、平成28年度9・3%、29年度8・1%となっている。検診場所が保健福祉センターに限られてしまうが、肺がん検診、胃がん検

診、大腸がん検診、また子宮頸がん検診、特定健診など、いくつかの検診を1日で済ますことができるようにセツト化した総合健診で、その回数をふやすようにしている。

問 自己検診用「乳がんグローブ」導入への所見は。検診受診への意識付けや日頃からのチェックアイテムとして取り入れることを市長に問う。 **答** 乳がんは自分で発見できる唯一のがんと言われており、小さいしこりのうちに発見することが大変重要だ。提案のものを活用することによって、受診率アップにつながれたら、非常に有効な手段だと感じている。乳がんの早期発見につながるのであれば、ぜひとも前向きに取り組んでいくべきと思う。

福田佐和子 議員



安心のまちづくり

問 市長の目指す南国市の未来は。

答 若い世代が自分の希望する場所で住み、働き、子育てをする。心豊かに生活ができ、安心して住み続けたいと思っただけ、そのようなまちづくりを考えている。

問 企業誘致で人口増か検証しているか。

答 南国市へ進出、事業拡大による従業員の増加人数のうち南国市在住者数を確認したところ、合計雇用人数で251人、うち南国市在住者が108人という回答があった。この結果から、働く場の確保という点では一定効果があると考えている。

問 国保引き下げについて、所得は下がっているのに負担が重い。

協会けんぽとの比較は、繰り入れで引き下げを。

答 年収が270万円の60歳と65歳の夫婦2人世帯で比較すると、

国保税は年額11万8800円、協会けんぽの保険料は15万2100円となる。協会けんぽは雇用者が半額負担で、

本人負担は半額となることから、負担額は国保のほうが高くなる。

今、国保は県一になったところで、将来的にも県全体で保険料を合わせていく流れもある

ので、現在は市費を繰り入れて負担を下げることは考えていない。

いじめ再調査

問 重大事態への市長、教委の対応は万全だったか。

答 (市長) 重大事態への対応については、精いっぱい対応してき

たと思っている。

(教育長) 教育委員会

としては、報告書にあった再発防止、予防に望む6つの提言をいただいているので、継続してこのことにしっかりと取り組んでいきたい。

問 青森市は報告書をHPで公開。学校と教委の検証と評価に50ページ。南国市は全くな

い。市長には自ら判断する責任とできる立場がある。再調査を。

答 今回の件については、精いっぱいどうあるべきかを考えた上で判断したことなので、

それについては考えは変わらない。

問 審査請求は委員の公開もせず、教委とのやりとりでは意味がないのでは。

答 委員の意見を伺ってからだが、公開できる部分は公開しても構わないと思う。

浜田 勉 議員



辛味の庶民論評は
高新出放題に踊る

問 短い文章で、県下

で派生した糾すべき出来事を一気に世論に引き上げる力を持っている。頭を冷やせの言葉に言いがたい憤りを示し、政策的な遅れ、クーラー設置を批判的に急かしているが、どう受け止めているか。

答 高知県教育委員会は、今回の処分で男性教諭の所属校などを公表すれば、被害生徒の特定につながるおそれがあり、非公表としたとされている。したがって、高知県教育委員会が公表し、報道されていること以外については、私から申し上げることはないで御理

解いただきたい。

部活動は学校教育活動の一環として位置づけ、全教職員が何らかの部活動に携わり、子

どもたちの成長を間近に見、援助していくというところで、各学校で取り組みを継続してき

た。部活動には教科の勉強とはまた違った大きなウェイトを占める部分があるので、今後

も南国市教育委員会としては大事にしていきたいと考えている。

小田々さん食味で
金賞。夢のまた夢

問 南国市の米で全国

と食味が張り合うことは、肥料や技術論でなく、農業力がなければ無理。三島の集落的農業観、さらにJA長岡

の米自販努力が組合員に響き、美味への関心と消費者への愛が高まり実った姿。市長の

祝意を聞く。

で金賞がとれる米ができたことは、この後の可能性を感じさせられる非常に素晴らしい出来事だと思う。今後ますます発展が見込まれるブランド米として可能性のあるお米が育てられたことは、本当に誇らしく、うれしいことだ。

今後、この長岡の中で育てられたコシヒカリが、国営のほ場整備を進めた中で、たくさんの皆様につくられて、南国市のブランド米として育っていくことを心より期待したい。本

当に小田々御夫婦にはお喜びを申し上げる。



常任委員会 (総務・産業建設・教育民生)、議会運営委員会の 新しい委員が決まりました。(◎…委員長、○…副委員長)

総 務 常任委員会

総務、財政、企画、税務、
危機管理、消防、他の常任委
員会の所管に属さない事項
【任期 1 年、7 名】



◎神崎隆代
公明党
(日吉町)



○西岡照夫
無所属
(大桶甲)



土居恒夫
無所属
(十市)



中山研心
民進党
(元町)



村田敦子
日本共産党
(東崎)



岡崎純男
無所属
(福船)



土居篤男
日本共産党
(十市)

産業建設 常任委員会

農林水産、農業委員会、建設、
都市整備、商工観光、上下水
道に関する事項
【任期 1 年、7 名】



◎植田 豊
無所属
(岡豊町)



○浜田 勉
日本共産党
(片山)



浜田憲雄
無所属
(浜改田)



西川 潔
無所属
(岡豊町)



有沢芳郎
無所属
(田村)



小笠原治幸
無所属
(陣山)



浜田和子
公明党
(大桶甲)

◇ 議会運営委員会

【任期 1 年、10 名】

議会の運営に関する事項、議会の会議規則・
委員会に関する条例等に関する事項、議長の諮
問に関する事項及び議案・陳情等を審査する。

◎委 員 長／土居恒夫

○副委員長／土居篤男

委 員／神崎隆代、浜田憲雄、西川潔、
高木正平、中山研心、村田敦子、
野村新作、西岡照夫



教育民生 常任委員会

教育委員会、福祉、保健、
環境に関する事項
【任期 1 年、7 名】



◎高木正平
無所属
(前浜)



○今西忠良
社会民主党
(久礼田)



山中良成
無所属
(大桶甲)



岩松永治
無所属
(久礼田)



前田学浩
無所属
(稲生)



野村新作
無所属
(篠原)



福田佐和子
日本共産党
(大桶甲)

議 会 日 誌

10月	1日・市政連絡会 ・教育民生常任委員会
	5日・総務常任委員会
	12日・市議会だより編集委員会
	15日・四国市議会議長会理事会（高松市）
	17日・全国民間空港所在都市議会協議会 臨時総会（秋田県秋田市）
	23日・教育民生常任委員会視察
11月	1日・産業建設常任委員会
	8日・議会運営委員会 ・議員総会
	12日・市政連絡会
	14～15日・全国市議会議長会研究フォーラム （栃木県宇都宮市）
	19日・西島園芸団地調査特別委員会
	20～21日・高知県市議会議長会視察研修 （埼玉県春日部市・川越市）
12月	3日・市政連絡会
	6日・議会運営委員会
	7～20日・第405回市議会定例会
	17日・議会運営委員会
	20日・市議会だより編集委員会 ・議会運営委員会

行政視察受入状況

【H30.10月～12月】



自治体名・人数（会派名等／視察内容）

- 10月10日 広島県三次市・7名
（教育民生常任委員会／学校給食）
- 10月19日 三重県津市・4名
（一津会／食育）
- 10月24日 奈良県大和郡山市・6人
（建設水道常任委員会／立地適正化計画）
- 11月2日 青森県八戸市・3名
（公明党／食育・ICT教育）
- 11月5日 岩手県陸前高田市・4名
（新志会／津波避難タワー）
- 11月14日 三重県四日市市・1名
（公明党／健康ポータル事業）
- 11月15日 三重県津市・3名
（県都クラブ／軽四救急車）
- 11月20日 富山県富山市・11名
（総務文教常任委員会／移住計画・学校給食）

常任委員会視察レポート

教育民生常任委員会（10／23）

学校給食センター（学校教育課学校給食係）

50数年来、未実施の状況であった中学給食は、保護者をはじめ、関係者の長年の要望が弾みとなって昨年実現された。本市の念願であった中学校給食が始まって11カ月が経過。生徒の皆さんにはすこぶる好評のようで、調理を担うスタッフもすっかり板についた模様の給食センターの「いま」を視察した。

視察時には、給食の調理を終えて各学校へ配送する容器に移し入れる行程を2階のフロアーから見学。その後、当日に提供される給食を試食させていただき、担当職員から説明を受けたが、市内の「米」を使った1,300人分の給食で、土佐の国での稲作発祥の地という、古代からの歴史を持つ南国市と、今日の生産の営みにも意識が向けられるなど、知識とともに栄養も満点の中学校給食であることを実感した。

全国的にも評価が高い本市の小学校給食に馴染んだ児童が中学校に進学し、引き続き昼食は給食で囲む。その連続性の成果として、知識、体力、情操など伸び伸びと育まれればと期待を感じたところである。



議決結果一覧(12月定例会)

■12月定例会(12/7~20)

◆議案

《29年度決算等》(9月議会継続審査分)……………全会一致で認定・可決

- | | |
|-----------------------|----------------------------|
| 1号・一般会計歳入歳出決算 | 2号・住宅新築資金等貸付事業特別会計歳入歳出決算 |
| 3号・土地取得事業特別会計歳入歳出決算 | 4号・農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算 |
| 5号・国民健康保険特別会計歳入歳出決算 | 6号・介護保険特別会計歳入歳出決算 |
| 7号・企業団地造成事業特別会計歳入歳出決算 | 8号・後期高齢者医療保険特別会計歳入歳出決算 |
| 9号・水道事業会計決算の認定について | 10号・下水道事業会計未処分利益剰余金の処分について |
| 11号・下水道事業会計決算の認定について | |

《30年度補正予算》……………全会一致で可決

- | | | |
|----------------------|------------------------|-------------------|
| 1号・一般会計補正予算 | 2号・住宅新築資金等貸付事業特別会計補正予算 | 3号・土地取得事業特別会計補正予算 |
| 4号・農業集落排水事業特別会計補正予算 | 5号・国民健康保険特別会計補正予算 | 6号・介護保険特別会計補正予算 |
| 7号・後期高齢者医療保険特別会計補正予算 | 8号・水道事業会計補正予算 | 9号・下水道事業会計補正予算 |

《その他》

- | | |
|---|---------|
| 10号・人・農地プラン検討委員会設置条例の一部を改正する条例…………… | 全会一致で可決 |
| 11号・農業委員会の委員及び農地利用最適化推進委員の定数に関する条例の一部を改正する条例…………… | 全会一致で可決 |
| 12号・地域ケア推進会議設置条例…………… | 賛成多数で可決 |
| 13号・子ども・子育て会議条例の一部を改正する条例…………… | 全会一致で可決 |
| 14号・ふるさと寄附条例の一部を改正する条例…………… | 全会一致で可決 |
| 15号・課の設置に関する条例の一部を改正する条例…………… | 全会一致で可決 |
| 16号・一般職の任期付職員の採用に関する条例の一部を改正する条例…………… | 全会一致で可決 |
| 17号・一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例…………… | 全会一致で可決 |
| 18号・市議会議員の議員報酬等に関する条例の一部を改正する条例…………… | 全会一致で可決 |
| 19号・市長等に対する給与並びに旅費に関する条例及び教育委員会教育長の給与、勤務時間その他の勤務条件に関する条例の一部を改正する条例…………… | 全会一致で可決 |
| 20号・特別職の職員で非常勤の者の報酬及び費用弁償支給条例の一部を改正する条例…………… | 全会一致で可決 |
| 21号・市道の認定について…………… | 全会一致で可決 |
| 22号・(仮称)南国日章工業団地の共同開発に係る団地整備業務(その2)委託契約の締結について…………… | 全会一致で可決 |
| 23号・山村振興等農林漁業特別対策事業施設の指定管理者の指定について…………… | 全会一致で可決 |
| 24号・教育委員会教育長の任命の同意について…………… | 賛成多数で同意 |
| 25号・教育委員会委員の任命の同意について…………… | 全会一致で同意 |
| 26号・人権擁護委員の推薦について…………… | 全会一致で同意 |
| 27号・人権擁護委員の推薦について…………… | 全会一致で同意 |

◆報告

- | |
|--|
| 1号・大篠小学校校舎増改築工事(建築主体)の契約金額変更に係る専決処分の報告について |
| 2号・損害賠償の専決処分の報告について |
| 3号・損害賠償の専決処分の報告について |

◆請願

- | | |
|--|---------|
| 3号・ヤマサキ農場(養鶏場)からの悪臭、排水汚染等による公害の防止について…………… | 全会一致で採択 |
|--|---------|

◆議員提出議案(議発)

- | | |
|--|---------|
| 1号・待機児童解消、保育士の処遇改善、保育の無償化のための必要な措置を求める意見書(提出者 土居恒夫議員)…………… | 全会一致で可決 |
| 2号・Society5.0時代に向けた学校教育環境の整備を求める意見書(提出者 浜田和子議員)…………… | 賛成多数で可決 |
| 3号・認知症施策の推進を求める意見書(提出者 神崎隆代議員)…………… | 全会一致で可決 |
| 4号・日欧EPAや日欧SPAからの勇敢なる撤退を求める意見書(提出者 浜田勉議員)…………… | 賛成少数で否決 |

賛否の分かれた議案等

○賛成 ×反対 一議長(議長は賛否に加わりません) 欠…欠席

議員名	神崎隆代	植田豊	浜田憲雄	山中良成	岩松永治	西川潔	土居恒夫	高木正平	有沢芳郎	中山研心	前田学浩	村田敦子	岡崎純男	小笠原治幸	野村新作	浜田和子	浜田勉	土居篤男	福田佐和子	西岡照夫	今西忠良	結果
議案番号																						
議案12号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	—	○	○	○	×	×	×	○	○	可決
議案24号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	—	○	○	○	×	×	×	○	○	同意
議発2号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	—	○	○	○	×	×	×	○	○	可決
議発4号	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	×	欠	—	×	×	×	○	○	○	×	○	否決

〔南国オフィスパーク センター別棟〕

市が出資する㈱南国オフィスパークセンターは、市北部の蛸が丘の南国オフィスパーク内にあり、賃貸オフィスや会議室などの便利施設を管理・運営しています。

同センター別棟は現センターの西側にあり、平成30年から建設が始められ、今年1月末に完成。2月に竣工式が行われる予定です。別棟の完成により、市外企業の移転要望への対応や企業誘致の推進が期待されます。

■施設概要／鉄骨造り3階建、延べ床面積

積約1180㎡、最大テナント数22、

小会議室1

■問い合わせ／南国オフィスパークセンター

☎880・8400



編集後記

昨年の漢字は「災」で災害の多い年だったが、昨年に限らずここ30年余り、大きな被害をもたらす地震が多く感じ

る。東北地方太平洋沖地震では、台風時の高潮以上に津波が堤防を乗り越える様子に息を呑み、阪神淡路大震災では、揺れと火災によって大きく被災した神戸の街並みに驚愕した。ほかにも昨年の大阪府北部地震、北海道胆振東部地震を始め、30年余りで被害が出た地震は153回も発生したという。

予測し得ない地震と異なり、周期的に発生する南海トラフ地震には備えができる。本気で一人一人が減災、避難、食料・薬の備蓄などを考える時期ではないだろうか。

(土居篤男)

◎市議会だより編集委員会

委員長 神崎隆代
副委員長 中山研心
委員 浜田憲雄
〃 山中良成
〃 村田敦子
〃 土居篤男

◆『市議会だより』について
のご意見・ご要望がありましたらお寄せください。

●12月定例市議会の会議録は、3月上旬以降に市ホームページ(<http://www.city.nankoku.lg.jp>)、議会事務局のほか、市立図書館で閲覧できます。

●次回の定例市議会は3月1日開会予定です。傍聴はどなたでもできます。